

平成28年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取市の概要【資料】

<教科に関する調査結果の概要>

(1) 小学校

国語 A (主として知識) …15問

() 内の数字は
全国との差

- 正答率 全国平均以上のもの… 12問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 14問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く (種)」 (言語文化) 90.4% (+2.7)
 - 「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む (快晴かいせい)」 (言語文化) 88.6% (+9.3)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「平仮名で表記されたものをローマ字で書く (あさって)」 (言語文化) 46.7% (+4.9)
 - 「目的に応じて図と表とを関係づけて読む」 (読むこと) 91.9% (-1.2)

国語 B (主として活用) … 10問

- 正答率 全国平均以上のもの… 4問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 6問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する」 (読むこと) 78.8% (+0.9)
 - 「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開にそって質問する」 (聞くこと、書くこと) 53.2% (+2.7)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「グラフを基にわかったことを的確に書く」 (書くこと) 45.9% (+2.5)
 - 「目的に応じて、質問したいことを整理する」 (話すこと・聞くこと) 49.6% (-2.2)

国語関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの (児童±3%以上、学校±10%以上)
 - 児童質問紙－「国語の勉強は好きだ」 62.5% (+4.2)
 - 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」 68.0% (+5.7)
 - 「国語の授業の内容はよく分かる」 85.3% (+4.6)
 - 学校質問紙－「図書館資料を活用した授業を計画的に行なった」 95.5% (+12.5)
 - 「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置づけた」 81.8% (-11.0)
 - 「資料を使って発表ができるよう指導した」 70.5% (-20.0)
 - ★「国語や算数において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童の資質・能力がどのように伸びているかを、児童自身が把握できるような評価を行なった」 54.5% (-21.6)

算数 A (主として知識) … 16 問

- 正答率 全国平均以上のもの… 7 問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 12 問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「不等号を理解している」 (数と計算) 96.3% (-0.4)
 - 「除法が 1 より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している」 (数と計算) 69.1% (+4.3)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「1 を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している」 (数量関係) 43.7% (-7.2)
 - 「三角形の底辺と高さの関係について理解している」 (量と測定) 76.3% (-5.7)
 - 「末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる」 (数と計算) 71.6% (-5.5)

算数 B (主として活用) … 13 問

- 正答率 全国平均以上のもの… 7 問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 9 問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つか調べることができる」 (数と計算、量と測定) 93.1% (+0.5)
 - 「ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4 台目のハードルの位置を求めることができる」 (数量関係) 57.6% (+1.4)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に式の意味の説明を記述できる」 (数と計算、量と測定、図形、数量関係) 5.9% (+1.0)
 - 「示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる」 (数と計算、数量関係) 44.5% (-6.0)
 - 「縦に書くことができる正方形の数を求め、24 個の正方形を描くことができる理由を記述できる」 (数と計算) 33.1% (-5.3)

算数関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの (児童±3%以上、学校±10%以上)
 - 児童質問紙—「算数の勉強は好きだ」 61.0% (-5.0)
 - 「算数の授業の内容はよく分かる」 77.9% (-2.3)
 - 「算数の問題の解き方がわからない時は、あきらめずにいろいろな方法を考える」 83.1% (+2.1)
 - 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」 70.7% (+3.3)
- 学校質問紙—「国語や算数において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童の資質・能力がどのように伸びているかを、児童自身が把握できるような評価を行なった」 54.5% (-21.6)
- 「算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術 (パソコン、タブレット端末含む、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなど) を活用した授業を行なった」 63.7% (-18.7)
- 「実生活における事象との関連を図った授業を行なった」 47.7% (-26.4)

(2) 中学校

国語 A (主として知識) …33 問

- 正答率 全国平均以上のもの…24 問
- 無解答率 全国平均未満のもの…18 問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「文脈に即して漢字を正しく読む (封筒)」 (言語文化) 97.9% (+0.3)
 - 「文脈に即して漢字を正しく書く (独創的)」 (言語文化) 38.1% (+12.0)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (白羽の矢が立つ)」 (言語文化) 49.1% (-4.9)

国語 B (主として活用) … 9 問

- 正答率 全国平均以上のもの… 4 問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 1 問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「目的に応じて必要な情報を読み取る」 (読むこと) 84.7% (+1.4)
 - 「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」 (書くこと・読むこと) 54.8% (+5.6)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」 (書くこと、読むこと) 55.3% (-2.4)

国語関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの (生徒±3%以上、学校±10%以上)
 - 生徒質問紙—「読書は好きだ」 75.6% (+5.7)
 - 学校質問紙—「各教科の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置づけた」 77.8% (-11.2)
 - 「様々な文章を読む習慣を付ける指導を行った」 72.3% (-16.4)
 - 「資料を使って発表ができるよう指導した」 72.3% (-12.4)
 - 「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした」 77.8% (-13.5)

数学 A (主として知識) … 36 問

- 正答率 全国平均以上のもの… 30 問
- 無解答率 全国平均未満のもの… 24 問
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
 - 「正の数と負の数の加法の計算ができる」 (数と式) 93.1% (+1.5)
 - 「空間における直線と直線との位置関係 (辺と辺とがねじれの位置にあること) を理解している」 (図形) 85.0% (+9.5)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
 - 「測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している」 (資料の活用) 36.5% (+1.8)
 - 「同様に確からしいことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している」 (資料の活用) 63.5% (-2.5)

数学B（主として活用） … 15問

● 正答率 全国平均以上のもの… 11問

● 無解答率 全国平均未満のもの… 3問

● 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題

「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる」(数と式) 81.7% (+2.4)

「グラフの傾きを事象に即して解釈することができる」(図形) 32.0% (+2.2)

● 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題

「与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる」

(数と式) 15.4% (+-0)

「適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる」

(数と式) 48.7% (-2.7)

数学関係の質問紙

● 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(生徒±3%以上)

生徒質問紙-「数学の勉強は好きだ」

52.7% (-3.3)

「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」 65.1% (-3.9)

<児童生徒質問紙 調査結果の概要>

● 鳥取市が課題と考えている主な項目(%は肯定的回答)

<夢、目標>

「将来の夢や目標を持っている」

小学校 84.3% (-1.0)

中学校 70.5% (-0.6)

<生活習慣> ※肯定的回答は全国平均より低い、増加傾向

「普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、テレビゲーム(コンピュータ・携帯型・携帯電話・スマートフォン)のゲームを含む)をする」

小学校 47.6% (-7.4)

中学校 49.3% (-7.8)

「普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする」

小学校 11.8% (-6.7)

中学校 33.6% (-14.2)

<家庭学習>

「家で、学校の授業の予習をしている」

小学校 46.3% (+3.0)

中学校 23.3% (-10.9)

<地域>

★「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」

小学校 44.0% (+7.8)

中学校 49.3% (+0.6)